



碧南ロータリークラブ週報

第2702回例会 平成26年9月10日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ



- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・吉武敏彦

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

第2760地区青少年交換委員会 委員 村瀬竜雄様
愛知ロータリーEクラブ 岡田竜治君

● バナー交換



岡田竜治君

会 長 挨 拶

8月の盆を過ぎてから急に秋めいて参りました。日中はまだまだ暑いですが、朝晩は秋らしくなったかなと思います。

9月8日は中秋の名月でございました。月が出る時間は雲が厚く、見えづらかったと思います。

翌日9日は、暦上は十六夜(いざよい)のスーパームーンでした。この日は晴れ上がっておりましてきれいに見えたかなと思います。月は楕円で地球の周りを回っておりますが、この日は通常よりも1割ほど大きく見えたそうです。本当にきれいな月でございました。

また、旧暦では7月から9月が秋であります、中秋は旧暦だと8月ですが、新暦ですと



石橋嘉彦会長

9月7日から9月10日までです。今年はきれいな月が3回も拝めたそうです。旧暦で、171年ぶりの閏月（うるうづき）だったようです。

おまけで10月8日は3年ぶりの皆既月食で、日本中で見れるそうです。あとは天候次第かなと思います。風情として生活の中に取り入れたら、と思います。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更などはございません。第3回理事会報告は幹事報告書の通りです。
- ・ 2月に申請を致しました地区の補助金が8月28日に振込をされました。今年度は、4,758ドル（48万5,316円）となっております。円安の影響で日本円が多くなりました。
- ・ 少し早いですが、11月19日の例会を夜間例会と致しまして、午後6時から開催させていただきます。卓話の講師と致しまして、鈴木泰博さんにご紹介頂きました、シニアワインエキスパートで、全日本ワインエキスパートコンクール優勝者の柳園佐智子様にお越し頂きます。ワインのレクチャーと共に、ワインをお楽しみ頂きますように準備をしておりますので、ご予定をお願い致します。
- ・ 理事会にて、ロータリー希望の風奨学金への支援協力のご承認を頂きました。災害義援金の予算より、会員一人当たり1,000円の義援協力をさせていただきます。ロータリーの希望の風奨学金につきましては、東日本大震災で両親、または片親を亡くされた大学生、専門学校生の遺児達に、入学から卒業まで毎月5万円を給付する事業です。現況報告と今後の取り組みにつきましては、ロータリーの友8月号に掲載されております。また、広島豪雨災害義援金と致しまして、募金箱をお回しを致しましたが、来週も回させていただきますので、ご協力をお願い致します。
- ・ 11月9日の日曜日の市民ふれあいフェスティバル、ロータリーデーを開催させていただきますが、お越し頂きますと、定款第9条第1節aの5によりまして、メーキャップとさせていただきますので、よろしくお願い致します。



伊藤正幸幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 13 名)出席者 59 名	
出席対象者 59/65 名	出席率 90.77%
欠席者 10 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 伊藤 正幸君 全米オープンテニスの錦織選手には、爽快な気持ちにしてもらいました。
- 鶴田 光久君 地区青少年交換委員 村瀬竜雄様を紹介させていただきます。
- 竹中 誠君 久しぶりに楽しい一日でした。次男が結婚しました。
- 平松 太君 事務局のマセさんが、先日誕生日を迎えられました。RCを色々めんどろう見ていただいて、楽しい碧南RCをリードしてもらい良い人だなと思います。とても70才には見えません。いつまでも元気で！！
- 荻谷 賢治君 いい事がありました。

卓 話

「2760地区 青少年交換活動について」

第2760地区青少年交換委員会 委員 村瀬竜雄様



村瀬竜雄様

本日はお時間を頂きまして、ありがとうございます。本日は、青少年交換活動についてお話したいと思います。

私は東知多 RC に所属しておりまして、ご縁がありまして、高浜 RC の黒田さんからお誘い頂きまして、青少年交換活動をしております。資料に基づき、このプログラムの良さについてお話させて頂きたいと思います。

青少年交換プログラムの歴史ですが、1969年に、第2760地区で初めて名古屋 RC クラブで2名の受け入れを行いました。碧南 RC さんでも1974年で1名受け入れ、1名派遣を実施されております。昔からあるプログラムでございます。

青少年交換プログラム自体は、1929年にフランスのニース RC が奉仕活動の一環で始めたという記録が残っております。1939年頃からアメリカが主体となり、アメリカと南アメリカ間で交換が開始されました。1972年には、国際ロータリー理事会で国際的活動として正式に推奨されました。

第2760地区では、オーストラリア、アメリカ、カナダ、フィンランド、フランス、ドイツ、ノルウェー、スイス、ブラジル、ベネズエラ、台湾、韓国、タイランドの13カ国と交換実施があります。先週ですが、青少年交換サミットがありまして、今年帰ってきた学生達の顔つきや態度などを見て、著しい成長を感じました。英語圏以外の国へ行けば、英語は使えて当たり前の世界ですので、英語とその国の言葉を覚えて帰ってきます。語学力という視点から見ればヨーロッパが魅力的かなと思います。派遣する国は、学生の希望は聞きますが、委員長の方針で決まります。最近では、英語圏主体で派遣させて頂いております。

2014年度は、日本で約350名、全世界で8,000名以上の青少年がこのプログラムを利用しております。

第2760地区の実績でございます。毎年平均で7～8名程度、派遣をさせて頂いております。来年度は10名を予定しております。第2760地区は、458名の会員で一人の学生を受け入れております。34地区中19位でございます。最良地区は、埼玉南東の第2770地区で、189名の会員で一人の学生を受け入れております。会員の数から言いますと、

もっと出せるのではないかと他地区から言われております。

交換の仕組みですが、複雑でございます。

交換先の国に了解を得て交換が始まります。このプログラムには色々な制約がございます。やらなければいけない事、してはいけない事などの色々な義務、ルールがございます。

8月に試験があり、10名が合格しました。1ヶ月に1度ほど、オリエンテーションをして教育をしていきます。日本人の感覚から言いますと、語学留学というイメージが強いのですが、語学留学ではなく、国と国の親善大使としてお互いの文化を広め合う、というのが背景でございます。

数年前にアメリカで銃の乱射事件がございました。その際に3名ほどの交換留学生在が亡くなっております。そういった場合の保証、ケア、今後そのような事がないようにどうするか、そういった意味での「危機管理」を各国でお話を進めております。

一つ目は、オリエンテーションで指導するのが第一です。

二つ目は、もし起きてしまった場合の対処です。金額的にどうするかなど、第三者の意見を聞きながら、危機管理の仕組みを考えております。お互いの国で保険に入ります。あつてはいけませんが、あつた場合は、お互いの国でケアし合うという仕組みになってきております。

また、他のプログラムはロータリーの関係者は行ってはいけませんが、この青少年交換プログラムだけはロータリーの子弟が参加できる仕組みとなっております。むしろ私は、ロータリーの関係者が行くべきプログラムと思っております。元々はロータリーの子弟を交換していたという歴史もございますので、本来の姿であると思っております。国際人を育てる大事なプログラムだと思っております。

1プログラムでおおよそ3年かかります。試験が受かってから1年オリエンテーションを行います。また御礼奉公1年ございます。本来であれば今回のような卓話はその子達を連れて行くわけでございますが、本日は平日でございますので予定が合いませんでした。出来るだけ、行った学生を連れて卓話に行っております。また、候補生達の指導などもやって頂きます。

派遣生の特性を挙げさせていただきます。

- 1、ロータリアンの子弟が参加できる唯一のプログラム
- 2、16歳以上、18.5歳未満（出発時）の高校生が対象
- 3、費用は、往復旅費及び保険、個人的衣服等のみ（最も安い）
- 4、小遣いとして、\$70～100程度が毎月支給される
- 5、国際親善大使として、相互理解、相互親睦を目指す（語学研修ではない、国際理解に最も効果的）
- 6、危機管理委員会が機能している地区同士で交換（最も安全）
- 7、国際ロータリーの規則に従って運営される（ロータリー章典）

学生のルールも4Dルール（Drive、Drink、Date、Drug）など様々なルールがございますので、オリエンテーションでしっかり教えます。

来日学生の交換条件です。以下のルールがございます。

- 1、 学校に通うこと（1年間を通じて）
- 2、 ロータリークラブが認めたホスト家庭に滞在すること
- 3、 ロータリーのルール等を守ること
- 4、 **Monthly-Report** の毎月の提出
- 5、 地区委員会が行うオリエンテーションに出席すること
- 6、 愛知県外の旅行は、クラブ商人および保護者（責任のとれる大人）と同行する
- 7、 ホストファミリーの方にも、ホスト報告提出を毎月お願いしています
- 8、 ロータリークラブの地域活動に積極的に参加すること
- 9、 個人的な費用は、全て個人持ちを基本とします

交換期間中の第一優先は、ホストファミリー、ホストクラブ、ホスト地区の順です。本国の保護者ではありません。

受け入れ後のクラブへのお願いですが、極力日本語で話す事、月一度の例会出席でショートスピーチ、4D ルールは全ロータリアンで守る事、ホスト交代の直前にホストの引継会を企画する事、公文（日本語教室）に通わせる事、交換プログラムはクラブ全員で共有する事、お客様扱いはしない事など、クラブへお願いをしております。

まとめになります。一度体験をして頂く事がこの感動を知る唯一の方法でございます。私は今まで4人ほど受け入れをしておりますが、本国へ帰ってからも繋がります。

派遣生をロータリー関係者の方で出されるとまたこのプログラムの良さを実感できます。西三河分区では高浜 RC さんがダントツでやっております。毎年やってらっしゃいます。ロータリー関係者の子弟が多いです。継続しておやりになると大きなきっかけになりますし、帰ってきた子達が国際人になって帰ってくるので、大きなメリットを感じてらっしゃるのではないかと思います。

受け入れ学生をホームステイし、家族関係が築けますとこれも楽しい関係になります。自分の子供達とは違う位置でコミュニケーションをとれます。

また、交換期間中は地区青少年委員会が支援を行います。問題が発生した場合には、私どもの誰かがその問題に対処致します。クラブだけではなく一緒になって問題を解決していきますので、ぜひご相談頂ければと思います。

結論と致しまして、ぜひ一度体験してみてくださいという事で卓話とさせていただきます。

次回例会案内

平成26年9月24日（水）

卓話「刀剣について」 杉浦良幸氏